

Tenable、クラウド・コンピューティング・インスタンスを継続的に確認し、セキュリティを確保する画期的な機能を発表

※本リリースは米国で同時に発表されるプレスリリースの日本語版になります。

米国メリーランド州、コロンビア (2020年10月6日) --Cyber Exposure カンパニーと銘打つ Tenable®, Inc.は、本日、追加のソフトウェアを導入することなく、クラウドのコンピュートインスタンスを即座に継続的に評価できるようにする画期的な機能を発表しました。これにより、企業は、脆弱性管理プログラムにおける定期的なスキャンやエージェントベースのアプローチを必要とせず、最新のクラウドファースト環境のメリットを、自信を持って利用できるようになります。

現在の在宅ワークが普及した経済では、クラウドの導入を大幅に加速させており、リモート・ワーカーや新しいアセットがオンラインに接続されることで、サイバーセキュリティの課題がますます増えています。そのようなクラウドには、ネイティブ・テクノロジーを活用して迅速かつ継続的で効率的な評価を実行できる、全体的な可視性を提供する専用のセンサーが必要です。

Tenable が提供するフリクシヨレス・アセスメントは、クラウドアセットの一部として導入されたネイティブ・テクノロジーを活用し、脆弱性のインスタンスを継続的に評価することで近代のアセットに対する脆弱性管理を実現する、画期的なアプローチです。利用者は、クラウドアセットを中断することなく評価することができます。スキャンのスケジュールを立てたりエージェントを展開したりすることなく、環境の変化に応じて新たな脆弱性を迅速に検出することができます。この機能は Amazon Web Services (AWS) で初めて提供が開始され、AWS Systems Manager Run Command を使用することで、リモートでも十分なセキュリティを確保したうえでクラウドインスタンスが中断された状態でも管理を行うことができます。クラウドのワークロードの寿命は一般的に数時間で測定されるため、フリクシヨレス・アセスメントは、すべてのクラウドベースのアセットでサイバーリスクの正確な可視性を達成し、維持するという重要な課題を解決します。

Tenable の最高技術責任者兼共同創業者である Renaud Deraison 氏は、「クラウドコンピューティングは大きな変革をもたらすものであり、フリクシヨレス・アセスメントも同様です。お客様は、数秒で完全な脆弱性管理プログラムを設定し、数分でアセットにおける AWS クラウド環境の実用的な結果を受け取ることができます。私たちは、リスク情報に基づいたアプローチにより、企業が自信を持ってクラウドに投資できるようにし、ビジネスに最大のリスクをもたらす最優先の脆弱性に焦点を当てることで、スキャンやエージェント、ソフトウェアの管理に費やす時間を減らします。」と述べています。

AWS のフリクシヨレス・アセスメントは、2020年の第4四半期後半に Tenable.io 利用者に提供される予定です。

詳細については、下記 URL を参照してください。

<http://tenable.com/cyber-exposure/see-predict-act>

また利用者には、2020 年 10 月 5 日～9 日に開催される Tenable のバーチャルユーザーカンファレンス「Edge Week 2020」への参加をお勧めします。ライブストリーミングまたはオンデマンド視聴をご希望の方は、下記 URL より登録してください。

Edge Week 2020: <https://events.tenable.com/EdgeWeek2020/>

■Tenable について

Tenable®, Inc. は、Cyber Exposure カンパニーです。世界中の 3 万以上の企業と組織がサイバーリスクを正確に把握し、削減するために Tenable を採用しています。Nessus®の開発者である Tenable は、脆弱性に対する専門性をさらに広げ、あらゆるコンピューティングプラットフォーム上のデジタル資産を管理、保護できる世界初のプラットフォームを展開しています。Tenable は、Fortune 500 の半数以上、およびグローバル 2000 の 30%以上の企業や、大規模の政府機関などで採用されています。詳しくは、jp.tenable.com をご覧ください。